



みどりの里

宇奈月小学校だより
第6号
令和4年11月1日

目指す子供像 うんとかがえる子 なかよくする子 つよいからだの子 きれいなこころの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山 205 番地 I
TEL(0765)65-2288 FAX(0765)65-2800

U R L <http://www.tym.ed.jp/sc13/>
E-mail unazuki-es@tym.ed.jp

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

教務主任 大上戸 剛司

本年度の全国学力・学習状況調査は、4月19日、全国の小学校第6学年及び中学校第3学年の児童生徒を対象に実施されました。本校でも、6年生32名が参加しました。この調査は、児童の学力や学習状況を把握・分析し、各教科における課題や生活状況の実態を明らかにすることにより、今後の指導内容・指導方法の改善や生活指導等に役立てることを目的としています。内容は①教科に関する問題（国語・算数・理科）と、②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査に分かれています。

今回、6年生が取り組んだ調査問題や正答例は、文部科学省、国立教育政策研究所のホームページ（今号に添付したQRコード）からご覧いただけます。

国立教育政策研究所、令和4年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について
<https://www.nier.go.jp/21chousa/21chousa.htm>



分析結果の概要

Ⅰ 本校の教科ごとの状況と改善点

【 】は学習指導要領の内容と設問番号

① 国語科について

優れている学習内容と能力	今後身に付けさせたい学習内容と能力
<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉との違いに気付く力 【言葉の特徴や使い方に関する事項 1-1】 物語を読み、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える力 【読むこと 2-1(1)】 物語を読み、登場人物の相互関係について、描写を基に捉える力 【読むこと 2-1(2)】 	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える力 【書くこと 3-1】 学年相応の漢字を文の中で正しく使う力 【言葉の特徴や使い方に関する事項 3-3ア】 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く力 【我が国の言語文化に関する事項 3-4】
学習指導に当たっての具体策	
<ul style="list-style-type: none"> 書く相手や目的に応じて自分が書いた文章を読み直し、整えることができるように学習を進めていきます。その際、読み手にとって分かりやすい文章にしたり、自分の伝えたいことをより明確にしたりすることを意識しながら、推敲できるように働きかけていきます。 漢字を文や文章の中で使おうとする習慣を身に付けるようにします。文字を整えたり、習った漢字を適切に使ったりしながら、読みやすい文章を作文できるよう指導していきます。 	

国立教育政策研究所、令和4年度全国学力・学習状況調査の国語の調査問題
https://www.nier.go.jp/22chousa/pdf/22mondai_shou_kokugo.pdf



② 算数科について

優れている学習内容と能力	今後身に付けさせたい学習内容と能力
<ul style="list-style-type: none"> 示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述する力 【数と計算 Ⅰ(3)】 目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取る力【データの活用Ⅲ(3)】 正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述する力 【図形 Ⅳ(1)】 	<ul style="list-style-type: none"> 示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察する力 【数と計算 Ⅰ(4)】 示された場面のように質量が変わっても割合は変わらないことを理解する力 【変化と関係 Ⅱ(3)】 表の意味を理解し全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求める力 【データの活用 Ⅲ(1)】
学習指導に当たっての具体策	
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の様々な場面において、概数を用いて数を見積もる活動も取り入れます。切り上げ、切り捨て、四捨五入の仕方を十分に理解し、場面に応じてどの方法を用いるのが適切かを判断しながら学習を進めていきます。 数量の関係を、教科の用語を使って言葉で表したり、式を用いて表現したりしながら含めた言葉や式で表現してノートにまとめたり、友達に説明したりする活動を大切にします。 数量の関係について、四則を混合させたり()を用いたりして一つの式に表すことができるように指導していきます 	

国立教育政策研究所、令和4年度全国学力・学習状況調査の算数の調査問題
https://www.nier.go.jp/22chousa/pdf/22mondai_shou_sansuu.pdf



③ 理科について

優れている学習内容と能力	今後身に付けさせたい学習内容と能力
<ul style="list-style-type: none"> メスシリンダーという器具を理解し、正しく扱う力 【「粒子」を柱とする領域 Ⅱ(1)、(2)】 自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつこと 【「粒子」を柱とする領域 Ⅱ(3)】 	<ul style="list-style-type: none"> 光の性質を基に、鏡を操作して、日光は直進することを理解する力 【「エネルギー」を柱とする領域 Ⅲ(1)】 予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつこと 【「地球」を柱とする領域 Ⅳ(2)】
学習指導に当たっての具体策	
<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決するまでの道筋を構想するには、問題を把握し、問題から予想や仮説を発想し、その予想や仮説を基に、解決の方法を発想することが大切です。主体的に活動できるように支援して、よりよい考えを作り出す力を高めます。 自然の事物・現象から得た情報や、観察、実験の結果、友達の気付き等を基に、自分の考えとの差異点や共通点を捉え、理解を深めることができるようにする学習活動を大切にします。 	

国立教育政策研究所、令和4年度全国学力・学習状況調査の理科の調査問題
https://www.nier.go.jp/22chousa/pdf/22mondai_shou_rika.pdf



2 児童質問紙の結果について

① 生活習慣・学習環境等に関して

○肯定的な回答の割合が高かった項目

- ・毎日、朝食を食べている。
- ・将来の夢や目標をもっている。
- ・自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。
- ・困り事があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている。
- ・学校の授業時間以外に、普段、1日あたり1時間以上勉強している。
- ・新聞を読んでいる。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。
- ・授業で ICT 機器を使って自分の考えをまとめたり意見交換したりしていることは勉強の役に立つと思う。
- ・授業では、学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を自ら取り組んでいた。
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいる。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
- ・国語の勉強は好きで、内容はよく分かる。
- ・理科の勉強は好きで、内容はよく分かる。学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている。
- ・算数や理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



▲課題がみられる項目

- ・毎朝、同じくらいの時刻に寝たり起きたりしている。
- ・携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。
- ・1日当たりの SNS や動画視聴の時間。
- ・1日当たりのテレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、スマホを使ったゲーム)の時間。
- ・難しいことでも失敗を恐れないで挑戦する。
- ・人が困っているときは、進んで助けている。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことであると思う。
- ・学校に行くことは楽しいと思う。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。
- ・1日当たりの読書の時間。
- ・自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある。
- ・地域の大人に、授業や放課後などに勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりする。
- ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
- ・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。
- ・国語の学習は大切で、授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- ・算数の勉強は好きで、内容はよく分かる。学習したことを、生活の中で活用できないか考えている。



② 考察と今後の方策について

・今回の質問紙調査の大きな課題の一つに「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしたり、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画の視聴をしたりしますか」という項目が挙げられます。本校では、2時間以上、上記のメディアを利用している子供の割合が高いことが分かりました。中には、4 時間を超える子供もいました。コロナ禍ということもあり、自宅で過ごす時間が増えていることも一因であると考えられます。しかし、ゲームやメディア(テレビ、PC、スマホ等)の使い方について親との約束を守られていない、もしくは約束がない子供が 3 割もいました。見届けが可能な範囲なら大丈夫と思いますが、ゲームに依存している、生活のリズムが崩れてきたなどの症状がありましたら、今一度ご家庭でのルールを見直していただきたいと思えます。



学校では、毎週水曜日をノーゲーム・メディアコントロールデーと設定しており、ゲームやメディアとの付き合い方の目当てをもたせています。今後も、学級活動の時間等にテレビゲームの影響や、SNS等の情報モラル・リテラシーの指導を工夫していきます。

○ゲームの時間を見直そう!・・・依存症は病気に認定されてます。

2019年、ゲームへの依存に関する全国規模の調査が初めて行われ、ゲームに費やす時間が長いほど仕事や健康生活に悪影響を及ぼしている実態が明らかになりました。生活に支障が出るほどゲームに熱中する依存症は、世界保健機関(WHO)が、「ゲーム障害」という病気として認定し世界的に対策が求められています。中国政府は、18歳未満の若者に対して平日にオンラインゲームをする時間を90分までと規制措置をしています。

この機会に、ご家庭でゲームをする時間や生活について親子で話し合ってみてはどうですか。

北日本新聞(2019年11月28日の朝刊)より→



・「自分でやるときめたことはやり遂げるようにしていますか」「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問に対しては比較的肯定的な回答をしている児童が多い一方、「人が困っているときは、進んで助けていますか」「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか」という質問に対してはやや否定的な回答が多くありました。誰かの役に立つこと、前向きにチャレンジしていくことは、人間が成長していくための大きな原動力であると考えます。昨今、他者とのつながりが希薄になっているという意見もありますが、一人一人の幸せな人生のために、自分が社会の一員であることの意識を高めていきたいです。

今回の全国学力・学習状況調査の結果を分析し、これからの取組の方向性等について書きました。学年に関係なく、「うちの子供はどうなのかな?」と考える機会にしていいただければ幸いです。

「AI(人工知能)」「超スマート社会(Society5.0)」等の言葉を最近よく耳にされると思います。これからの社会は科学の発展やグローバル化に伴い大きく変わろうとしています。そのため、知識だけではなく、予測が困難な未知の状況にも対応できる「思考力や表現力」、チームの一員として働くために必要な「コミュニケーション力」、そして物事を「最後まで粘り強くやり抜こうとする力」等の一体的な育成が大切になってきます。「学校でできること」、「家庭でできること」、それぞれ役割に違いはありますが、共に手を取り合い、協力・連携して未来を担う子供たちを大切に育てていきましょう。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。